



水土里ネット新潟
マスコットキャラクター

水土里ネット
みどり
水土里ネット

2026.1.1
第42号

世きかわ水系



▲農林水産大臣代理^{せいやま}青山農村振興局次長による国営関川用水農業水利事業完工式挨拶
(右下：関川水系土地改良区野口理事長による国営関川用水農業水利事業祝賀会挨拶)

国営関川用水農業水利事業完工式が挙行されました!!

国営かんがい排水事業関川用水地区の事業完了に伴い、令和7年10月23日(木)にデュオ・セレッソ(上越市西城町3丁目)にて完工式が執り行われました。国営かんがい排水事業関川用水地区は、平成26年8月より約11年にわたり実施されておりますが、令和8年3月31日を以て事業完了を迎えることとなります。式典には、衆議院議員梅谷守様をはじめとする国・県・市議会議員の皆さま、また、農林水産省他関係機関の皆さま等、総勢67名が出席され、事業の完工を祝いました。

Contents もくじ

理事長年頭ごあいさつ	2~3
令和6年度決算報告	4~6
事業実施状況	7
トピックス	8~9
お知らせ	10~11
賦課金単価が改定されます	12

土地改良区の概況

●面積	5,627ha
●組合員	5,564名

〒943-0185 新潟県上越市大字長面14番地1
TEL【総務課】025-522-5722 FAX 025-522-5724
【業務課】025-522-5723
【整備課】025-522-2447



URL <http://www.sekikawasuikei.com>

- 発行：関川水系土地改良区
- 責任者：理事長 野口和広
- 編集：総務課

E-mail info@sekikawasuikei.com

理事長年頭ごあいさつ



関川水系土地改良区
理事長
野口 和広

新年、明けましておめでとうございます。
います。

組合員の皆様におかれましては、
清々しい新年をお迎えのこととお慶
び申し上げます。

昨年は、土地改良施設を十分に活
用しながら、稲作を行い、農業・農
村を守っていくことが、極めて大切
なことであると改めて認識させられ
た一年となりました。

令和7年は、6月27日から無降雨
が続き、7月の高田測候所の月間降
雨量は0.5mmで、令和5年を超え
る渇水になると心配していたところ
でした。組合員の皆様からは、輪番
制による番水にご協力いただいたこ
と。8月10日前後から降り始めた降
雨により、ダムの貯水量が一気に回
復したことで、以降は順調に用水供
給ができました。

改めて組合員の皆様からのご
協力に感謝申し上げます。心配され
た高温障害は、当初懸念されたほど
発生せず、中生以降の品種は作柄、

品質ともに良い結果となったことで
胸を撫で下ろしたところでありませ
う。

昨今の異常気象は、番水の実施が
毎年のようになりつつあることを予
感させるものであり、さらにはフェー
ン現象の多発等で、番水を実施して
も対応できない可能性も出てきてお
ります。残念ながら猛暑・渇水等に
対して効果的な対策はなく、番水等
により節水に努めながら、限りある
資源を有効活用することがこれから
も肝要であると思っております。こ
れには組合員皆様方のご理解とご協
力無しには不可能であり、更なるご
理解を賜りますようお願い致します。

これまで低迷しておりました米
価は、JAの令和7年産仮渡金で
コシヒカリ 一等米 60kg 33,
000円以上が示されました。生産
コストが高止まりしていることや生
産者の経営基盤強化を図る必要があ
ること、取引先から安定供給に対す
る要望が強いこと等を踏まえた金額
が提示されたものと思っております。
農家所得が増えることは土地改良区
にとっても大変好ましいことです。
これにより管内の農業・農村地域が
守られ、更に未来へ美田を残すこと
ができればと思っております。

関川水系土地改良区の水瓶である
笹ヶ峰ダムは標高1220m、野尻
湖は654mに位置し、管内に清ら

かで冷たい用水が供給できるのは、
高地に水瓶があることと、送水は東
北電力様のパイプラインを通り、
途中12か所で発電を繰り返しなが
ら管内水田に供給していることが遠因
であると思っております。旧来、冷
たい用水は収量が落ちると言われて
いますが、昨今の温暖化現象でも比
較的冷たい用水が供給できる管内の
米は、米取引商社等からも人気があ
ると聞いております。当土地改良区
と致しましては、これからも冷たい
用水が安定供給できるよう関係機関
と連携し、努めてまいります。

また、日本穀物検定協会の食味ラ
ンキングでは、2年続けて「A」と
残念な結果でありましたが、今年こ
そは「特A」に復活することを願っ
ております。これにより「上越の米
は美味しい」、「高くても買いたい、
食べたい」という消費者マインドが
更に根付くことを願うばかりであり
ます。

一方、高市内閣の誕生により前政
権から一線を画す姿勢が鮮明化して
います。従来から「猫の目農政」と
言われてきたように政策が頻繁に変
わることは、農業者にとって不安材
料です。とは言え、その時々合った
政策を行っているという側面もあ
るとも言えます。

いずれにいたしましても、生産コ
ストを考えた適正価格と消費者が納
得して購入できる米価、この相反す
る問題や全国で災害が頻発する中で、
どのような方向に進むのか注視し、

将来の見通しができる農政、未来が
見通せる米政策に期待して行きたい
と考えます。

令和8年は、次の4点について、
お願いや取り組みを行っていきたく
と考えています。

1. 財政再建計画

現役員体制で、財政再建は最重要
課題として取り組んできたところで
すが、令和7年度臨時総代会におい
て提案した財政再建計画について議
決を頂き、誠にありがとうございます
でした。

経常賦課金は、平成24年から3,
000円/10aで据え置き、合併前
の積立金を取り崩しながら運営を
行ってきました。令和7年度で国営
「関川用水地区」が完了し、その農
家負担金は、積立金を財源として、



▲野尻湖満水立ち合い

直接農家負担がないようにした結果、積立金が大きく減少することになります。今後、積立金が減少した土地改良区の財政状況をそのまま放置することは、業務の停滞・災害時での応急対応といった組合員サービスの低下等、組合員の不利益にも繋がり、将来の組合員に負担を強いることになりかねません。当土地改良区の運営基盤の強化、安定した組合員サービスの提供、持続可能な土地改良区のため、賦課単価値上げの決断をし、組合員の皆様にご理解とご協力をお願いすることになりました。

令和8年度からの経常賦課金は、10a当たり3,000円から5,100円となります。新たに積立金として賦課することにより令和10年から3000円を加算し5,400円、令和11年は更に500円を加算し5,900円、令和12年は400円を加算し6,300円にまで段階的に値上げすることをご理解願います。

この積立金については、昭和50年頃から多くの土地改良施設を造成しましたが、施設は老朽化が進み、ゲート操作ができない、足場等が腐食により危険で操作できない等、本来必要な機能が発揮できない施設が多くなってきました。可能な限り職員の直営修繕で長寿命化を図っておりますが、それでも対応できない場合に備えるものであります。

組合員の皆様からは、貴重な収入の一部を土地改良区へご負担をお願いすることになり、大変心苦しいお願いとなりますが、財政と運営の健

全化、土地改良施設の保全等について特段のご理解を頂きますようお願い申し上げます。

詳細については、本誌裏表紙に記載しましたので、ご高覧いただきま

2. 国営関川用水地区の工事完了と堆砂対策の推進

平成26年度に採択された国営関川用水地区については、令和7年度をもって完了致します。昨年10月23日には国会議員等を来賓に、農林水産省農村振興局次長を始めとした関係機関の皆様からご出席をいただき完工式が行われました。

笹ヶ峰ダムにおいては、妙高戸隠連山国立公園内の施設であることや冬期間は積雪により工事ができない等の数々の問題を乗り越え、実施されました。本事業により実施された工事内容は、笹ヶ峰ダムの老朽化対策、小水力発電所建設、幹線用水路改修、水管理システム等の改修となっており、農業用水の安定供給と維持管理の軽減を図り、農業生産の向上及び農業経営の安定化に寄与するものと思っております。

もう一つの国営事業、直轄地すべり対策事業 笹ヶ峰第二期地区（R3～R17）は、引き続き事業の促進を求めています。

また、笹ヶ峰ダムの堆砂対策については、国による検討調査、地元調整等が行われています。昨今の異常気象対策として、用水供給の絶対量を確保し、安心して営農が続けられ

る環境にすることは大変重要なことであると思っております。一日も早い事業化により、堆砂対策を行い、必要な貯水量の安定確保ができるよう強力に要望してまいります。

3. 役員定数検討委員会について

昨年8月の臨時総代会挨拶でも触れさせていただきましたが、監事については地域の申し合わせにより1期ごとに選出地域を移動させています。理事1名のみの選出となっている区域が、監事の選出の順番になると、理事の枠を失うこととなります。

災害や長期化する土地改良事業、維持管理、用水供給、特に漏水等となりますと、やはり各地域から理事一人は出ているべきであるという考えであります。役員定数検討委員会において議論をいただき、理事会を経て3月の通常総代会に提案する予定であります。

総代会の議決が得られれば、11月に予定されている役員選挙は、新しい定数で実施したいと考えておりますので、皆様方からのご理解をお願い致します。

4. 県営圃場整備事業の推進

新潟県では、近年採択された圃場整備地区が増加し、限られた県予算の中で、如何に予算配分を受けるかが重要となっております。これから新規採択を希望する地区においては更に厳しさを増し、昨年10月10日の新潟日報の報道では、「圃場整備事業の調査要望 27年度以降は休止、件

数増加、財政難で」と見出しにあるとおり、採択抑制される方針が県会産業経済委員会でも説明されております。こうした環境下においても、当管内の圃場整備実施地区に少しでも多くの予算配分となるよう当土地改良区が残してきた実績や組合員の園芸の取り組み、熱意等を説明し、圃場整備事業が進むよう新潟県に対して働きかけを行っていきたいと思います。また、新規採択希望地区においても地域の取り組み状況や圃場整備によって事業効果が上がることを等々説明し、事業化に向けて推進を行ってまいります。

結びになりますが、上越地域の農業が更に発展、活性化するとともに、組合員の皆様方の更なるご多幸と、当地域で災害や漏水等がなく、平穏な一年になることを祈念し、新年のご挨拶といたします。本年も宜しくお願いいたします。

野口理事長が「瑞宝双光章」を受賞しました！

長年の地方自治功労をたたえられ、当改良区の野口理事長が、令和7年11月3日発令の令和7年秋の叙勲「瑞宝双光章」を受賞しました。今後ますますのご活躍をご祈念申し上げます。

令和7年8月8日に行われた第41回臨時総代会は、総代総数63名のうち、出席者61名（うち書面による出席者9名）、欠席者1名、欠員1名で開催されました。令和6年度決算や経常賦課金の単価改定など全10議案が承認・議決されました。

令和6年度一般会計 決算款別総括表

収入 986,874,404円 支出 924,269,919円 繰越金 62,604,485円

収入 986,874,404円

土地改良事業収入

325,621,615円 (33.0%)

経常賦課金・償還金等による収入

補助金等収入

298,012,000円 (30.2%)

土地改良事業等で国・県・市等から交付される補助金収入

借入金収入

106,845,000円 (10.8%)

土地改良事業等の地元負担に充てるための借入金

繰越金収入

65,866,420円 (6.7%)

前年度からの繰越金

特定資産取崩収入

58,151,231円 (5.9%)

預り金の移管等により特定資産から取り崩した繰入金

業務受託料収入

53,739,403円 (5.4%)

業務を受託することによる収入

附帯事業収入

37,742,057円 (3.8%)

他目的使用料やその他事業に関する収入

交付金収入ほか

40,896,678円 (4.2%)

その他収入

支出 924,269,919円

土地改良事業費支出

420,175,178円 (45.5%)

維持管理費や補修・改修等による費用

一般管理費支出

167,399,016円 (18.1%)

人件費・事務所運営費等による支出

借入金返済支出

156,433,739円 (16.9%)

公庫への借入金返済に充てる金額

土地改良事業負担金支出

105,348,958円 (11.4%)

事業等により地元が負担する金額

特定資産積立支出

58,828,345円 (6.4%)

特定資産を積み増すための支出

支払換地清算金支出

8,614,392円 (0.9%)

新潟県へ支払う換地清算金

基本財産積立支出

5,180,956円 (0.6%)

基本財産を積み増すための支出

支払利息ほか

2,289,335円 (0.2%)

その他支出

令和6年度事業報告及び決算報告

令和6年度 貸借対照表（令和7年3月31日現在）

一般会計

（単位：円）

科 目	金 額	科 目	金 額
I 資産の部		II 負債の部	
1 流動資産		1 流動負債	
現金及び預金	8,211,034	(1) 流動負債	
未収賦課金	4,016,815	未払金	19,729,205
その他未収金	75,519,982	預り金	1,001,006
流動資産合計	87,747,831	賞与引当金	12,573,852
2 固定資産		1年以内返済予定長期借入金	15,766,119
(1) 基本財産		適正化事業拠出金短期未払金	264,000
山林、宅地及びその従物	47,597,638	短期リース債務	1,105,884
基本財産積立金	493,918,701	流動負債合計	50,440,066
基本財産合計	541,516,339	2 固定負債	
(2) 特定資産		(1) 固定負債	
所有土地改良施設	10,217,017,786	公庫資金長期借入金	643,131,154
土地改良施設用地等	1,203,008,957	えちご上越農協長期借入金	450,000
財政調整積立資産	258,655,727	職員退職給付引当金	140,568,002
職員退職給与積立資産	136,455,843	役員退任慰労引当金	2,828,563
決済金積立資産	190,538,633	長期リース債務	1,388,147
維持管理費積立資産	188,772,454	固定負債合計	788,365,866
特定資産合計	12,194,449,400	負債合計	838,805,932
(3) その他固定資産		III 正味財産の部	
建物	125,169,562	1 指定正味財産	
機械及び装置	2,689,178	受取補助金等	
器具備品	2,504,334	受取補助金	9,365,586,588
リース資産	2,809,181	受取補助金等合計	9,365,586,588
ソフトウェア	297,001	指定正味財産合計	9,365,586,588
適正化事業拠出金	3,864,000	(うち基本財産への充当額)	
長期未収賦課金等		(うち特定資産への充当額)	(9,419,731,588)
長期未収経常賦課金	6,697,745	2 一般正味財産	
長期未収特別賦課金	8,956,772	一般正味財産	2,775,120,995
長期未収過怠金	1,537,652	一般正味財産合計	2,775,120,995
長期未収水路使用料	1,274,520	(うち基本財産への充当額)	(541,516,339)
長期未収賦課金等合計	18,466,689	(うち特定資産への充当額)	(2,630,432,601)
その他固定資産合計	155,799,945	正味財産合計	12,140,707,583
固定資産合計	12,891,765,684	負債及び正味財産合計	12,979,513,515
3 繰延資産			
繰延資産合計	0		
資産合計	12,979,513,515		

積立資産

（単位：円）

積立資産名称	前期末残高	増減額	当期末残高
基本財産積立資産	489,290,589	4,628,112	493,918,701
維持管理費積立資産	172,398,390	16,374,064	188,772,454
財政調整基金積立資産	292,533,136	▲ 33,877,409	258,655,727
決済金積立資産	187,759,923	2,778,710	190,538,633
職員退職給与積立資産	121,054,094	15,401,749	136,455,843
合 計	1,263,036,132	5,305,226	1,268,341,358

令和6年度笹ヶ峰発電事業特別会計 決算款別総括表

収入 133,937,524円 支出 79,447,304円 繰越金 54,490,220円

収入 (単位：円)

科 目	決算額
発電事業収入	85,247,512
繰越金	45,408,517
特定資産取崩収入	2,480,000
他会計繰入金ほか	801,495
合 計	133,937,524

支出 (単位：円)

科 目	決算額
発電事業費	36,055,811
特定資産積立支出	35,203,755
他会計繰出額	6,463,197
一般管理費支出	1,724,541
合 計	79,447,304

令和6年度 貸借対照表 (令和7年3月31日現在)

発電事業会計

(単位：円)

科 目	当年度	科 目	当年度
I 資産の部		II 負債の部	
1 流動資産		1 流動負債	
現金及び預金	54,490,220	賞与引当金	846,369
流動資産合計	54,490,220	流動負債合計	846,369
2 固定資産		2 固定負債	
(1) 特定資産		(1) 固定負債	
職員退職給与積立資産	2,098,702	職員退職給付引当金	2,098,532
受託土地改良施設使用収益権	127,143,851	長期未払金	181,634,071
欠損調整積立資産	33,223,484	修繕引当金	65,174,342
災害準備積立資産	31,697,359	固定負債合計	248,906,945
建設改良積立資産	79,098,504	負債合計	249,753,314
修繕引当資産	62,733,449		
特定資産合計	335,995,349	III 正味財産の部	
(2) その他固定資産		1 指定正味財産	
器具備品	361,963	指定正味財産合計	0
その他固定資産合計	361,963	(うち基本財産への充当額)	
固定資産合計	336,357,312	(うち特定資産への充当額)	
3 繰延資産		2 一般正味財産	
繰延資産合計	-	一般正味財産	141,094,218
		一般正味財産合計	141,094,218
		(うち基本財産への充当額)	
		(うち特定資産への充当額)	(3,335,995,349)
		正味財産合計	141,094,218
資産合計	390,847,532	負債及び正味財産合計	390,847,532



▲議事進行する内山忠義議長 (有田地区選出)



▲祝辞を述べる竹内副部長

ほ場整備事業実施状況

ほ場整備事業

【継続地区】 令和 7 年10月31日現在 (単位：面積ha、金額千円)

地区名	受益面積 (ha)	採択 年度	総量	前年度まで		R7年度事業量・予算内訳			翌年度以降
			事業量 事業費	事業量 事業費	進捗率	R6補正	R7当初	計	事業量 事業費
今池	40.3	H30	面 40.3	面 39.2	97.3%	面 1.0 式	面 1.0 式	面 1.0 式	面 1.1
			暗 15.2	暗 10.9	71.7%	暗	暗	暗	暗 4.3
			1,018,000	962,200	94.5%	17,000	15,002	32,002	23,798
中江有田	54.1	R1	面 54.1	面 53.9	99.6%	面 1.0 式	面 1.0 式	面 1.0 式	面 0.2
			暗 54.0	暗 13.9	25.7%	暗 5.0	暗	暗 5.0	暗 35.1
			1,896,000	1,592,620	84.0%	163,000	94,000	257,000	46,380
三郷	195.7	R3	面 195.7	面		面	面	面	面 195.7
			暗 193.5	暗		暗	暗	暗	暗 193.5
			5,526,000	730,285	13.2%	292,596	4,000	296,596	4,499,119
青野	84.5	R3	面 84.5	面 14.4	17.0%	面 11.5	面 1.0 式	面 11.5	面 58.6
			暗 84.4	暗 4.7	5.6%	暗	暗 9.7	暗 9.7	暗 70.0
			2,619,000	654,770	25.0%	190,000	167,000	357,000	1,607,230
清里第 1	224.0	R5	面 224.0	面		面	面	面	面 224.0
			暗 223.7	暗		暗	暗	暗	暗 223.7
			7,035,000	201,000	2.9%	114,000	2,000	116,000	6,718,000
高士南部	97.7	R5	面 97.7	面		面	面	面	面 97.7
			暗 97.7	暗		暗	暗	暗	暗 97.7
			3,019,000	97,000	3.2%	61,000	1,500	62,500	2,859,500
高士東部	13.7	R5	面 13.7	面		面	面	面	面 13.7
			暗 13.7	暗		暗	暗	暗	暗 13.7
			516,000	33,000	6.4%	58,000	2,000	60,000	423,000
下池部	64.1	R5	面 64.1	面		面	面	面	面 64.1
			暗 64.1	暗		暗	暗	暗	暗 64.1
			1,777,000	65,000	3.7%	38,000	2,000	40,000	1,672,000
飯	75.7	R6	面 75.7	面		面	面	面	面 75.7
			暗 73.9	暗		暗	暗	暗	暗 73.9
			2,143,000			38,000	1,000	39,000	2,104,000
計	849.8		面 849.8	面 107.5	12.7%	面 11.5	面	面 11.5	面 730.8
			暗 820.2	暗 29.5	3.6%	暗 5.0	暗 9.7	暗 14.7	暗 776.0
			25,549,000	4,335,875	17.0%	971,596	288,502	1,260,098	19,953,027

【上段】 面：区画整理 【中段】 暗：暗渠排水 【下段】 予算額

トピックス

経営体育成基盤整備事業（面的集積型） 高野地区の視察を受け入れました

経営体育成基盤整備事業高野地区では、令和7年12月時点で7団体・134名の方々の視察がありました。視察の目的として主には場整備事業の概要、スマート農業への取組みであり、特に北陸地方最大の4.2haほ場における耕作や換地手法等について高い関心が寄せられました。関川水系土地改良区では、大区画ほ場の整備、スマート農業、V溝乾田直播栽培を「令和農業三種の神器」と銘打ち、農業振興を推進しています。視察のお申し込みにつきましては、当改良区ホームページのお申し込みフォームよりお問い合わせください。



▲群馬県西部農業事務所視察



▲関東農地集団化推進協議会視察

世界かんがい施設遺産「上江用水路」見学会を実施しました

令和7年10月9日（木）、一般参加者80名を対象に、世界かんがい施設遺産「上江用水路」見学会を開催しました。今年度も多くのお申し込みをいただき、募集人数を上回ったため、キャンセル待ちとなった皆様にはご参加いただけず、心よりお詫び申し上げます。

今回で9回目となる見学会では、水源となる笹ヶ峰ダムや妙高市川上集落にある用水の取り入れ口をはじめとした上江用水路を象徴する施設を中心に、上流から下流へと用水路を辿りながら巡りました。現地をご覧いただくことで、用水路が地域を支える仕組みや役割をより深く理解していただけたのではないかと思います。

参加者の方からは、「長い時代をかけて引き継がれてきたことに感銘を受けた。」「用水供給の努力やありがたさ、地域の仕組みの一部を理解することができた。」「改めて水の大切さを知ることができた。また参加したい。」といった嬉しいご感想を多数いただきました。先人たちの努力と、用水を守りつなぐ大切さを感じていただければ幸いです。



▲笹ヶ峰ダムでの説明



▲上江養水史料館での説明

野尻湖利水についての意見交換会が開催されました

令和7年11月5日（水）、黒姫高原ホテルにおいて、今後も円滑な利水を行うため、「野尻湖の利水についての意見交換会」が開催されました。意見交換会には、信濃町役場をはじめ、野尻湖に関係する各種機関の皆さまが参加し、野尻湖と土地改良区とのかわり（歴史的経過等）や近年の農業用水としての野尻湖利水実績をもとに、今後の野尻湖利水に関する意見交換が行われました。

なお、当改良区と野尻湖の関係は深く、小栗美作が中江用水を開削した1674年に遡ります。当時は中江用水として野尻湖の慣行水利権を有していましたが、時代が進み、用水系統の変化や土地改良区の合併に伴って、現在では、慣行水利権の所有者は関川水系土地改良区となっています。



▲野尻湖利水意見交換会

川上権現社祭礼

4月21日



当土地改良区では、先人たちの偉業に感謝し、農業施設に関係する神社やお寺で例大祭、法要、参拝等を実施しております。

年間行事

河波良神社例大祭

6月20日



小栗美作法要

6月19日



宇賀神社代表参拝

8月27日



上江北辰神社例大祭

7月17日



お知らせ

用水路に除雪による雪を捨てないでください！

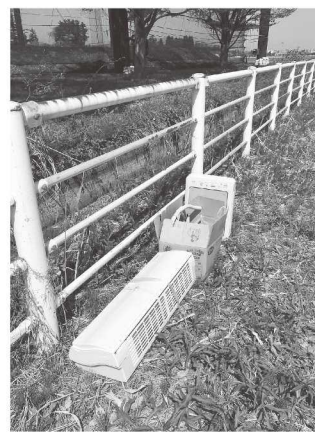
用水路内に除雪した雪が入れられ、用水が溢れる事案が発生しております。近年では寒波や低気圧の影響から、数日間でも多量の積雪が見られることもあります。溢水により、近くに住む方の土地や住宅に被害が出る可能性がありますので、除雪した雪を水路に入れないようご協力をお願いいたします。



不法投棄は犯罪行為です

当土地改良区では、維持管理業務の一環として用排水路の巡視や点検を行っておりますが、用排水路やその周辺に家庭ごみや産業廃棄物等が

不法投棄されていることがあります。空き缶や紙くず、または家具家電のように適切な処分が必要なもので捨てられていることもあります。これらは全て不法投棄にあたり処罰の対象となるため、用水路にゴミを捨てるのは絶対におやめください。

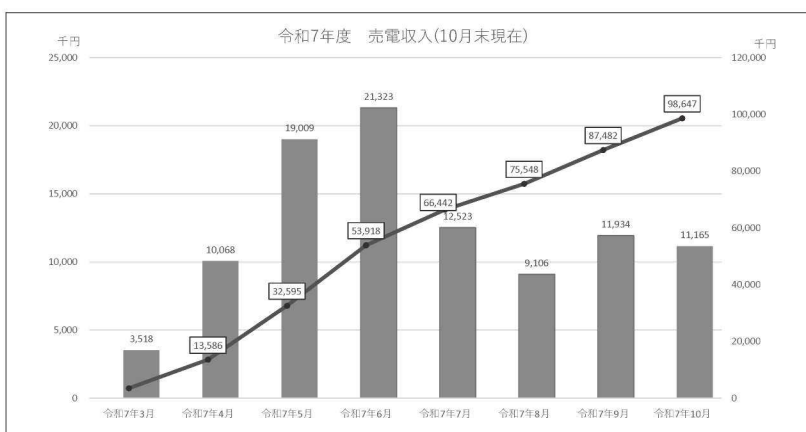


相続登記が義務化されています

令和6年4月1日より、全国に存在する「所有者不明土地」を解消し、その発生を抑制することを目的に、相続登記の義務化が始まっております。これにより、相続によって不動産を取得した人は、その取得を知った日または遺産分割成立日から3年以内に登記申請をする必要があります。正当な理由なく義務を守らない場合は、10万円以下の罰金が科される可能性があります。相続の際には当改良区にも届け出ください。※令和6年4月1日以前に相続が開始された場合は3年の猶予期間が設けられています。

笹ヶ峰発電所稼働実績と売電見込み

今年度は、昨年7月に停電時に於ける水車軸受けへの送油継続工事、また8月には東北電力ネットワーク（株）の送電線工事のため各々2週間ほど発電が停止しました。その他の期間においては概ね順調に稼働することができ、10月までの累計売電額は98,000千円となっております。年間売電額は100,000千円に達する見込みです。



田面の漏水防止対策について

令和7年度は、高温・少雨の影響により、一部のほ場で土壌乾燥に伴う亀裂が確認されています。亀裂などによる漏水は、用水不足や畦畔の崩落、用水・肥料成分の流出につながる可能性があります。つきましては、左記の漏水防止対策の実施に、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

【対策内容】

- ・秋耕後、排水溝を閉じて雨水を確保し、代かきを丁寧に行う。
- ・畦畔付近に大きな亀裂がある場合は、トラクターで数回走行し、土をしっかり鎮圧する。
- ・亀裂のある畦畔際1m間にベントナイトを投入し、作土とよく混ぜるようロータリーで耕起する。



▲上越市干ばつ災害水田復旧事業
(亀裂の入った田を湛水整地により復旧)

組合員の皆様へお知らせ

○賦課金納入は安心・便利な口座振替を

関川水系土地改良区では安全・便利な口座振替契約を推奨しております。納入方法を口座振替に変更希望される方は総務課賦課係までお問合せください。

【金融機関一覧】 えちご上越農業協同組合 新井信用金庫 第四北越銀行 ゆうちょ銀行 上越信用金庫

○忘れていませんか？土地改良区への届け出

下記項目に該当する場合は総務課賦課係まで必ずお届けください。

- ・農地の権利異動があったとき（売買、交換、賃貸借等）
- ・組合員が亡くなられたとき
- ・農業者年金を受給しようとするとき（経営移譲）
- ・組合員が住所、口座、名義を変更したとき

※当年3月31日を過ぎての届け出は翌年度からの変更となりますのでご注意ください。

○農地転用に伴う申請

当土地改良区管内で公共事業用地（道路、河川等）として農地を売渡、寄付した場合でも土地改良法第43条第2項により地区除外申請と決済金の納入が必要です。決済金を納入いただかないと土地原簿から面積を削除できないため、従前どおり賦課されてしまいますのでご注意ください。

○「賦課金控除額証明書」は土地改良費の控除証明です

先般お送りした賦課金控除額証明書は税務署から指導を受けて作成したもので、確定申告の際にご利用いただく土地改良費の控除証明となります。領収書と併せてご提出ください。再発行（550円）を希望される方は総務課賦課係までお申し付けください。

農業用水情報をメール配信しています！

当土地改良区では農業用水情報をチラシ形式で配布しておりますが、情報伝達速度向上のため、メール配信を行っております。今後も従来どおりのチラシ形式での配布も行いますが、早期に情報がほしいという方はぜひご利用ください。

農業用水情報メール

登録・解除はこちらから

【ご利用方法】

- ①当土地改良区HPのブラウザ下部までスクロールし、「農業用水情報メール」バナーをクリック。
- ②「登録・退会フォーム」の「入会する」側にメールアドレスを入力し、「入会する」ボタンを押下。
もしくは、「water_info-apply@sekikawasuikei.com」まで空メールを送信。

※登録後、退会を希望する場合は「登録・退会フォーム」の「退会する」側にメールアドレスを入力し、「退会する」ボタンを押下。

- ③登録したメールアドレスに認証メールが送信されますので、メール本文中にある「認証用URL」をクリック。



賦課金単価が改定されます

関川水系土地改良区では、第41回臨時総代会において、賦課金等検討委員会からの答申を踏まえた「財政再建計画（賦課金単価の改定）」を提案いたしました。その結果、「経常賦課金単価の改定について」は賛成 57名・反対 3名、「施設更新積立金の新設に伴う賦課について」は賛成 53名・反対 7名で議決され、下表のとおり令和8年度から令和12年度までの5年間で段階的に賦課金を改定することが承認されました。

つきましては、小作料等の兼ね合いもありますので、一度耕作者様と所有者様とで来年度以降の契約についてご相談いただけますと幸いです。なお、賦課金負担者を変更される場合は令和8年3月31日までに組合員資格得喪通知書の届け出が必要となりますので、ご承知おきくださいますようお願い申し上げます。

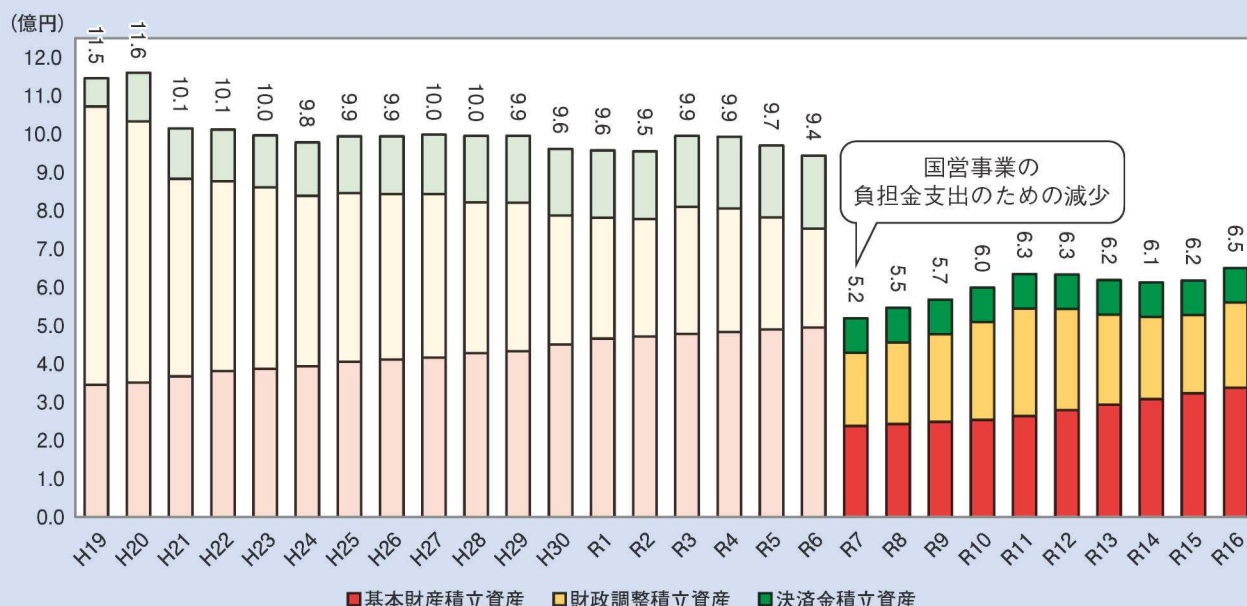
近年、物価高騰や人材不足をはじめ、土地改良区を取り巻く経営環境は年々厳しさを増してきています。安定的な組合員サービスの提供・施設の老朽化対策・災害への備えを継続するためには、財源の確保が不可欠です。当改良区では、経費節減・業務改善に引き続き全力で取り組んでまいりますが、財政健全化のための本賦課金改定について、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
5,100円 ➡ 5,100円 ➡ 5,400円 ➡ 5,900円 ➡ 6,300円				

※客水区域・上江上区域は一般区域の50%

経常賦課金		5,100円/10a	合計 6,300円/10a
【内訳】	一般事務費	3,800円/10a	
	維持管理費（直轄施設分）	1,300円/10a	
施設更新積立賦課金		1,200円/10a	
【内訳】	国営造成施設分	400円/10a（R12～）	
	県営造成施設分（直轄管理施設）	500円/10a（R11～）	
	地元管理施設（揚水機場等含む）への助成分	300円/10a（R10～）	

財政再建計画後の3積立金の残高見込み 約6億円を確保



再生産可能な植物油を原料としたインキを使用しています。
この製品は、適切に管理されたFSC® 認証林およびその他の管理された供給源からの原材料で作られています。